



# なのはなさくら



第10号

文責 村井 隆幸

## 【学校教育目標】

子どもと学びを未来につなぐ～開拓者精神を受け継ぐ子どもたちのために～

昨年12月に、保護者の皆様に本校の教育活動及び運営状況についてアンケートをお願いいたしました。お忙しい中、オンラインでの調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。ご回答いただいた内容は、本校の教育活動を振り返る上で貴重な資料となりました。今後も本校の子どもたちのために、皆様のご協力の下、職員一同努力していく所存です。引き続きご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

## 令和7年度 保護者アンケート結果

質問項目は昨年度と同じものです。「Aそう思う」を4点、「Bまあそう思う」を3点、「Cあまりそう思わない」を2点、「Dそう思わない」を1点として、全ての回答を数値化した結果が次の表です。

	項目	R 6	R 7
1 学 び	1 子どもの学ぶ意欲は、高まってきている。	3.1	3.1
	2 授業が工夫され、子どもが分かる楽しさを味わっている。	3.3	3.3
	3 進んで意見や感想が言えるようになってきている。	3.0	3.0
	4 人の話をよく聞くことができるようになってきている。	2.9	2.9
	5 基礎・基本が定着してきている。	3.0	3.0
	6 自分から家庭学習に取り組んでいる。	2.8	2.8
	7 難しい問題でも、すぐにあきらめなくて取り組んでいる。	2.7	2.6
	8 読書の意欲が高まってきている。	2.9	2.9
2 育 ち	9 子どもは、学校生活を楽しんでいる。	3.5	3.5
	10 子どもは、あいさつの習慣が身に付いてきている。	3.1	3.1
	11 学校は、子どもの体づくりに取り組んでいる。	3.2	3.2
	12 子どもは、学校の行事に意欲的に取り組んでいる。	3.6	3.6
3 心	13 子どもは苦しいことや難しいことがあっても、あきらめずに取り組んでいる。	3.0	2.9
	14 思いやりのある学級・学年になってきている。	3.1	3.2
	15 いじめを許さない雰囲気があり、孤立する子どものいない学級・学年になってきている。	2.9	3.1
	16 縦割り班活動は、子どもの豊かな心の育成につながっている。	3.4	3.4
	17 総合的な学習の時間をとおして、ふるさとの人や自然との関わりが深まってきている。	3.4	3.4
	18 学校には、親身になって相談にのってくれる人がいる。	3.1	3.2
4 連 携 等	19 学校生活の様子が、お便りやHPをとおして伝わってきている。	3.3	3.6
	20 人材や施設などの教育環境が、効果的に活用されている。	3.4	3.5
	21 P T A活動の内容は、充実している。	3.4	3.4
	22 園・小・中の交流活動は、お互いを高めるために役立っている。	3.5	3.5

## 1. 主に「学び」に関する質問について (質問項目 1～8)

質問7以外は、昨年度と同等の評価をいただきました。質問7の「難しい問題でも、すぐにあきらめない」につきましては、本校の重点目標でもある「粘り強く頑張るたくましさの育成」につながるものです。その土台として、自由に自分の考えを話したり、失敗しても温かく認めてくれたりする学校や学級の雰囲気づくりが大切だと考えます。引き続き、全教育活動を通じた道徳教育の充実に努めていきたいと思っております。

また、昨年度と同等の評価ですが、質問8「読書の意欲が高まってきている」につきましては、肯定的な意見として児童は79%、教職員は100%と、とてもよい捉え方をしています。学校にいる間は読書に親しんでいるが、「家に帰ると・・・」といったところでしょう。学校では、朝読書や村の図書ボランティアによる読み聞かせ等、一層の充実を図っていきたく思います。読書意欲を高めるとともに、言語に係る能力の向上に努めていきますので、ご家庭でも長期休み等には読書の機会をつくっていただければと思います。

## 2. 主に「育ち」に関する項目について (質問項目 9～12)

この項目については、昨年度と全く同様の評価となりました。質問9「学校生活が楽しい」質問12「学校の行事に意欲的に取り組んでいる」については、どちらも3.5を超える高い評価をいただきました。本校では、子どもたちが明日も元気に学校に来なくなる、魅力ある学校づくりを目指しています。また、学習面においても、子どもたちが「分かった」「できた」と思えるような授業改善に取り組み、主体的・対話的で深い学びの実現に取り組んでいきたいと思っております。

なお、質問10「あいさつの習慣」は、肯定的な意見として児童は96%、教職員100%と、とてもよい結果となっています。今後も褒めて認めて励ましながら、あいさつの大切さを指導していきたく思います。

## 3. 主に「心」に関する項目について (質問項目 13～18)

この項目については、概ね昨年度と同様の結果となりましたが、質問14「思いやりのある学級」質問15「いじめを許さない」について昨年度より若干高い評価となっています。今後も、日常の授業づくりや学級づくりを通じた共感的な人間関係づくりを推進するとともに、いじめ等の未然防止に向けた活動に取り組んでいこうと思っております。あわせて、「いじめ見逃しゼロ」を目指し、生活アンケート等の活用を図りたいと思っております。

また、質問18「学校は、相談にのってくれる」について、昨年度より高い評価をいただきました。今後も気軽に学校に足を運び、何でも話せるような学校の雰囲気づくりに努めていきたいと思っております。

## 4. 「連携等」について (質問項目 19～22)

今年度校長ブログを復活させた効果でしょうか、質問19の「お便りやHP」の項目について数値が大幅に高くなりました。自由記述からも、担任のお便りが子どもたちの活動の目的や様子がとても分かりやすいという意見をいただきました。引き続き、子どもたちや教員の頑張る様子を更新していきたく思います。

なお、学年度末に行われるPTAの役員決め及び学年部の組織について、親子レクの廃止等の提言をいただいております。他地区同様、今後とも少子化が続くことを見据えた貴重なご意見であると思っております。今後、PTA役員とも相談しながら進めていきたいと思っております。

## 5. 記述欄から

たくさんのご意見やご要望、ご提言をいただき、ありがとうございました。主なものを一部を抜粋し紹介させていただきます。

### (1) 学習について

- ・家庭学習ノート展の必要性
- ・子どもへの接し方

家庭学習の必要性についてはご理解いただいていると思っております。学校では「学習内容の定着」と「学習習慣の定着」の2つを目的として指導しています。今後も、子どもに力をつけるためにはどのような仕方がよいのかという視点を大切にして、保護者の皆様のご協力もいただきながら取り組んでいきたいと思っております。

ノート展については、「がんばりを紹介する」「よいと思ったことは真似てほしい」という目的で実施しています。来年度実施するかも含めて、検討していきます。

子どもたちへの接し方についても、親身に対応している、いつも温かく見守ってくれている、温かい声掛けをしてくれ、学校生活を充実して送っているという肯定的なご意見をいただきました。一方で、担任の子どもたちへの接し方に不満を感じているご意見もありました。子どもたちの健全な成長のために、今後も我々職員一同ユニバーサルデザインの視点に立って臨んでいこうと思っております。

### (2) 生活（安全）について

- ・いじめ
- ・保健関係（バッチリ検査・歯磨きカレンダー）

いじめ防止は、学校としての重要課題です。道徳や特別活動での学びを通して、思いやりの心を醸成するとともに、多様な他者に対する理解の促進を図ります。

また、いじめは相手の人権を侵害する決して許されない行為であること、継続の如何等にかかわらず相手に心身の苦痛を与える行為自体がいじめであることについて、繰り返し指導していきたく思います。

バッチリ検査や歯磨きカレンダーについて、ご提言をいただきました。この後各担当で話し合い、検討したいと思っております。

### (3) 学習・生活（安全）以外について

- ・学校設備
- ・熊対策等のメール
- ・個人持ち教材の備品化
- ・教職員の望ましくない言動
- ・学校給食

いただいた全てのご意見等について、各担当や行政と相談、検討していきたく思います。また、学校だけでは対応が困難なものにつきましては、学校運営協議会等の際にも話題にさせていただきたいと思っております。

職員個人に対するご指摘につきましては、管理職が対応いたします。